

取付説明書

お客様・工事店様用



レバーハンドル錠

品番

V-LGJ 5 ** : KMS
V-LGKJ 5 ** : KMS

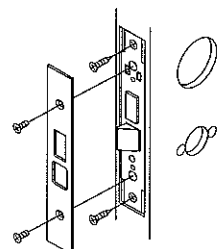


注意

- スベリ止め付き手袋をご使用ください。金具で手を切ることもあります。
- レバーハンドル等の突起物を足場にしないでください。
滑って、けがをすることがあります。また、製品性能が低下することがあります。
- ネジは、この取付説明書に従って正確に締付けてください。締付不良の場合、故障の原因になります。
- 全ての部品を取付後、正常に作動しているか確認してください。

1 本体取付け

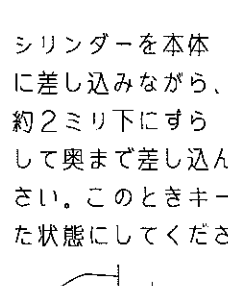
フロント止めネジ⑨をゆるめてフロントをはずし、本体取付ネジ①で、扉に取り付けてください。



2 シリンダー取付け

シリンダーを取り付ける側のシルトメピン②を抜き取ってください。

シリンダーを本体に差し込みながら、約2ミリ下にずらして奥まで差し込んでください。このときキーは抜いた状態にしてください。

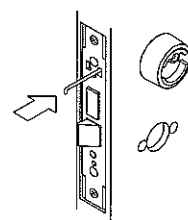
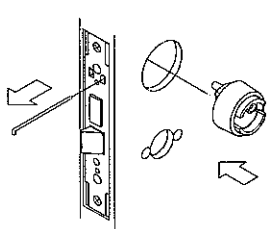


シリンダーを押さえながら再びシルトメピン②を差し込んでシリンダーを固定してください。

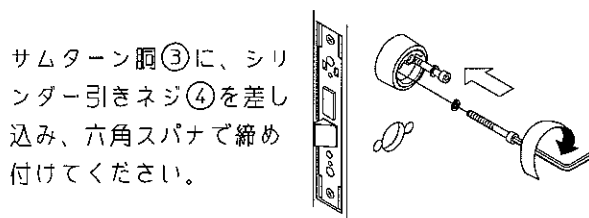


3 サムターン取付け

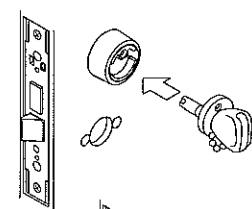
サムターンを取り付ける側のシルトメピン②を抜き取ってください。サムターン③を本体に差し込んでください。



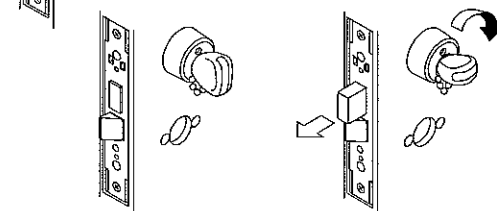
再び、シルトメピン②を差し込んでサムターン③を固定してください。



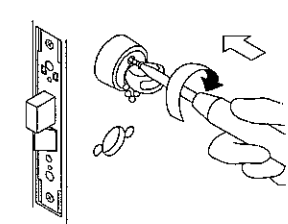
サムターン③に、シリンダー引きネジ④を差し込み、六角スパナで締め付けてください。



サムターンツマミ⑤を、差し込みサムターンを回して、デッドボルトを突出させる。



サムターンツマミ⑤をサムターン取付ネジ⑥で締め付けてください。



電動ドライバー等で取り付ける場合は、ネジを潰さないよう注意してください。

4 座取付け

柱付き座を本体に差し込み、取付け板を座取付けネジ⑦で締め付け、座外腕をかぶせてください。

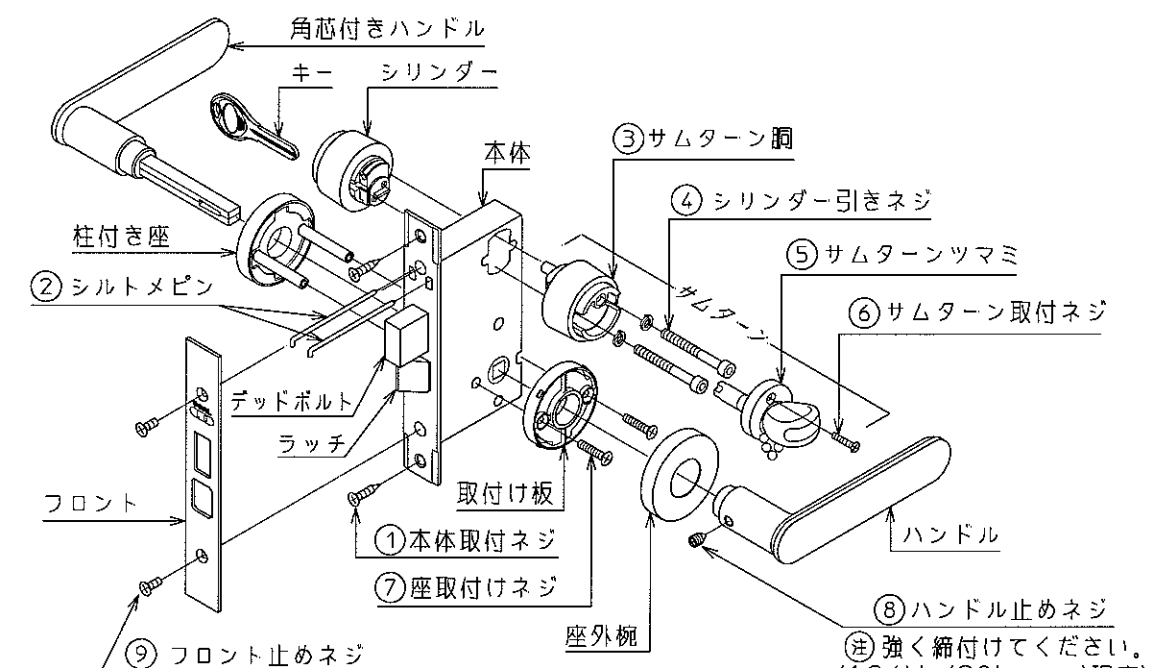
5 ハンドル取付け

角芯付きハンドルを本体に差し込み、もう一方のハンドルを差し込んで、ハンドル止めネジ⑧を強く締め付けてください。

6 フロント取付け

ラッチの向きを扉の勝手に合わせてフロントを入れ、フロント止めネジ⑨を締め付けてください。

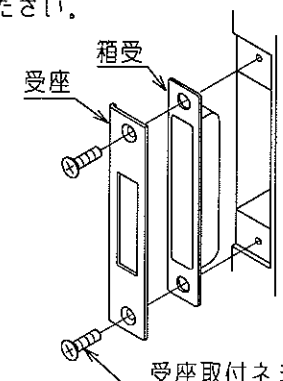
⑩ 座が取り付けられなくなりますのでフロント取り付けは必ず最後にしてください。



(注) このネジを先に締付けたと柱付き座が組込めなくなります。座及びハンドルを取り付けた後で最後に締付けてください。逆に座をはずす時は、このネジをゆるめてからはずしてください。

7 受け座取付け

下図のように受座、箱受を取り付けてください。

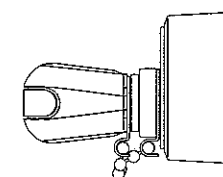


■防犯サムターン（マグネット式脱着型サムターン）

不正解錠“サムターン回し”で、解錠しようと工具を当てた場合、サムターンが外れ、不正解錠を防ぎます。

- 日常の使用は従来のサムターンと同じで簡単に回すことができます。
- サムターンの連結部分は強力な磁石を使用していますので簡単に元に戻すことができます。

サムターン取付状態



サムターンが外れた状態

